

各機関の平成28年度の取組み

平成29年度の実施予定

- ・秋田市
- ・横手市
- ・湯沢市
- ・大仙市
- ・仙北市
- ・美郷町
- ・羽後町
- ・東成瀬町
- ・秋田県
- ・秋田地方気象台
- ・東北地方整備局

H28年度の取組状況（秋田市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 本庁舎は盛土の上であり耐水性は確保されている。排水機場については未定

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ 東北地整の動向に合わせて検討予定

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **H28.6、住民参加による直轄河川の重要水防箇所共同点検を実施**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

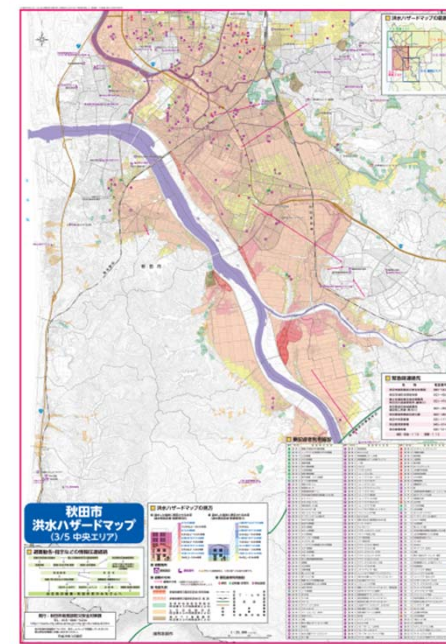
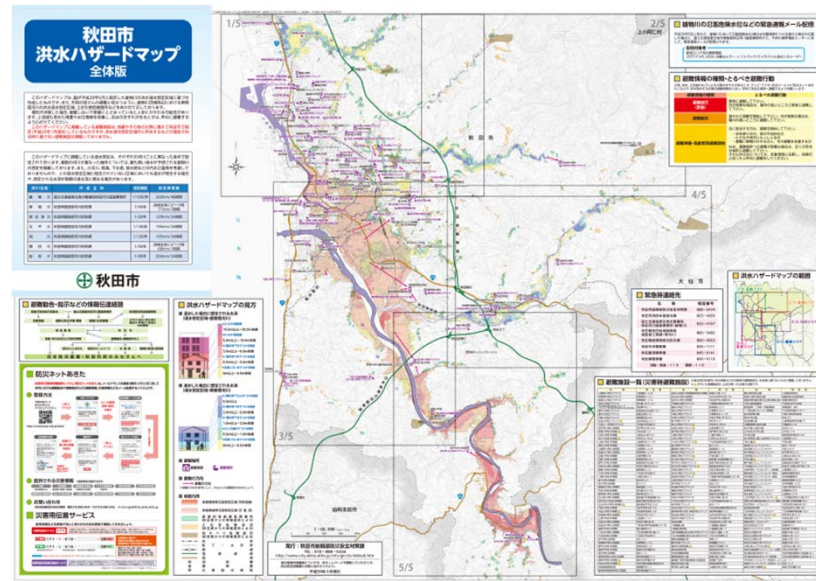
⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災メール・SNS整備済み

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ **H28年度にハザードマップを全戸配布・市HP公表（150,800部印刷）**



秋田市ハザードマップの作成
(H29.3末公表・配布)

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 実施済み（県の「情報の架け橋」による共有）
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **H28.6.5、秋田市水防訓練を実施（計60名）**
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ **H28.6、直轄河川の重要水防箇所の合同点検を実施**
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ **H28.5実施**



ロープ結索要領



月の輪工法

秋田市水防訓練の状況（H28.6.5）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 本庁舎は盛土の上であり耐水性は確保されている。排水機場については未定

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災メール・SNS整備済み

⇒ **防災ラジオをH29.8以降に貸与予定（要配慮者利用施設等を対象）**

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ **ハザードマップに関する住民説明会開催予定（H29.7～）**

（浸水想定区域内の地区で予定）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・重要水防箇所の手回し巡視
 - ⇒ 継続実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
⇒ 継続運用
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ 安全・安心メール・防災ラジオ・緊急速報メール

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ **台風10号から、防災情報の共有試行を開始**
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **H28.6.4、横手市水防訓練を実施（計305名）**
- ・重要水防箇所への合同巡視
⇒ **H28.6.2、直轄河川の重要水防箇所の合同巡視に参加**
※横手市参加者：副市長、防災関係職員、消防本部・消防署員、消防団
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ **H28.6.2実施**



横手市水防訓練の状況（H28.6.4）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）を平成29年3月作成完了、平成29年度運用開始

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ 70年・30年キャンペーンへの参加

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 安全・安心メール・防災ラジオ・緊急速報メール

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ H30.2、市HPで公表、全戸配布・要配慮者利用施設等へ配布予定

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒ **直轄河川の重要水防箇所の合同巡視への参加**
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ 継続実施

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の 一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

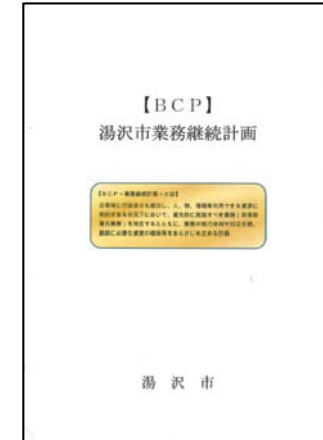
- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒ 無し
- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 無し

H28年度の取組状況（湯沢市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ **湯沢市業務継続計画（BCP）の策定（H29.2.15運用開始）**
- ⇒ **避難勧告等判断マニュアルの整備（H28年度内完成予定）**



湯沢市BCP作成（H29.2.15運用開始）

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ **H28.5.27、洪水対応演習に参加（湯沢市役所に災害対策室を設置）**
※国交省からのリエゾン派遣、国交省事務所長と市長とのホットライン
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ **消防協会、消防団との連携による市内小学校・保育園を対象に防災講話を実施（小学校3回、保育園8回、団体等3回）**
「防災講話」「出前講座」により町内会等を対象とした啓発活動（10回）



関係機関と連携した防災教育の実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 継続運用
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ **H29運用に向け登録制メール導入（登録受付開始：3月1日）**
 - ⇒ **タブレット端末による高齢者等生活支援システム実証試験実施中（H28.8.1～H29.3.31）**
 - ⇒ SNSによる情報発信は継続運用
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 - ⇒ **H29.2.1、公表・全戸配布（18,050世帯）を実施。要配慮者利用施設等にも配布**



湯沢市ハザードマップの作成（H29.2.1公表・全戸配布）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ H28.5.29、羽後町及び東成瀬村と合同で水防訓練実施（計120名）
 - ⇒ H28.11.6、水防技術講習会に参加
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ H28.6.6、直轄河川の重要水防箇所の合同巡視に参加
※湯沢市参加者：防災監、防災関係職員、消防本部・消防署員、消防団員
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ H28.6.6、直轄河川の重要水防箇所の合同点検時に水防倉庫を確認



シート張り工法



月の輪工法

水防訓練状況
(H28.5.29、羽後町・東成瀬村と合同開催)

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ B C P策定済み
- ⇒ 避難勧告等判断マニュアルの整備済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施
 - ⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施**
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ **市内小学校・保育園を対象とした「防災講話」の継続実施**
「防災講話」「出前講座」による啓発活動の継続実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 継続運用
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 登録制メール、タブレット端末による高齢者等生活支援システム実証試験、SNSによる情報発信は継続運用
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 - ⇒ 配布済み

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・重要水防箇所の手廻り巡視
 - ⇒ **直轄河川の重要水防箇所の手廻り点検への参加**
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

H28年度の取組状況（大仙市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ B C P を策定済み

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ **H28.12.7、要配慮者利用施設における防災研修を実施**

※各要配慮者利用施設、中仙地域自主防災組織、市・消防関係（約50名）

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **H28.6、住民参加による直轄河川の危険箇所等の共同点検を実施**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **H28.12.7、要配慮者利用施設と周辺自主防災組織との防災研修を実施**
（要配慮者利用施設と自主防災組織との連携確認を含む）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **H28.9より避難行動支援者及び要配慮者利用施設等を対象に防災ラジオの無償貸与**
※H29.2月現在の貸与数約3,200台（現在も貸与継続中）
※H28.10月中旬から1台14,000円にて販売開始（7,000円の補助金制度あり）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進（追加）

⇒ **H28.10.5から要配慮者利用施設あて「洪水時の避難確保計画」の作成を依頼**
※H29.2月現在で106施設のうち68施設からの提出あり



要配慮者利用施設における防災研修（H28.12.7実施）



要配慮者利用施設の避難確保計画の作成依頼（発送文書）



【大仙市防災ラジオ】
 ・緊急の防災情報を自動で受信
 ・受信可能放送局
 「FMはなび」「NHK・FM」
 「FM秋田」
 ・ラジオのサイズ
 高さ×12cm、幅×12cm
 奥行き×12cm

大仙市防災ラジオ

H28年度の取組状況（大仙市）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ **台風10号から、防災情報の共有試行を開始**
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H28.6.5、関係機関が連携した大仙市水防講習会を実施（計470名）**
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ **H28.6.8、直轄河川の重要水防箇所の合同巡視に参加**
※大仙市参加者：総合防災課長、防災関係職員、消防本部・消防署員、消防団員一般住民
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 随時実施



土のう作成



シート張り工法

大仙市水防講習会（H28.6.5）



重要水防箇所の合同巡視
（H28.6.8、西板戸・南外浄水場付近）

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
 - ⇒ **内容を検討中**
- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ **H28.6.30、県と連携し福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施（計30名）**



排水訓練等の実施状況（H28.6.30、県と連携して実施）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ B C P を策定済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 継続実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災ラジオの無償貸与（新規対象者）、有償購入者への対応を継続実施

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ **H29年4月より検討開始、H29.11頃に公表・配布予定（全戸配布、関係機関にも配布）**

・**要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進（追加）**

⇒ 実施済み

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **関係機関が連携した大仙市水防講習会を実施**
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ **直轄河川の重要水防箇所の合同点検への参加**
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の 一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
 - ⇒ **決定しだい実施**
- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ **県と連携した福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施**

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ **H28.6.19、水防団洪水対応訓練を実施**
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ **H28.8.6、防災の集いを開催**
※市民が楽しみながら興味や関心を持てる内容とするため、放水体験やレスキュー体験を組み入れている。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒防災行政無線・市安心安全メールの継続
 - ⇒**要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進**
 - ⇒ **10月中旬、浸水想定区域に所在する要配慮者利用施設等を訪問し、洪水時の避難確保計画の策定を依頼。（現在市内5施設が対象）**
 - ⇒**市内社会福祉法人3社と災害時における「福祉避難所の設置及び運営に関する協定」を締結（H29年3月30日）**



防災講話



新聞紙を使ったサンダル作成



レスキュー体験



放水体験

仙北市防災の集い（H28.8.6開催）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 災害時随時活動情報を提供
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H28.11.6、水防技術講習会に参加**
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 水防訓練時に確認



川倉工法



土のう積み工法

水防技術講習会（H28.11.6参加）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **BCPを29年度中に策定予定**

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **防災の集いを開催 H29.8.5**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ **H29.8.5、平成29年度仙北市総合防災訓練の実施**

（秋田県消防協会大仙仙北美郷支部との共催）

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **市安心安全メール活用**

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 水防訓練時に確認を予定
 - ⇒ **ドローン活用捜索訓練の実施**
（警察・消防・市との3者連携による河川合同捜索訓練を検討中）

H28年度の取組状況（美郷町）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ 役場庁舎は浸水想定区域外となっているが、自家発電機については嵩上げを講じている
- ⇒ 美里町業務継続計画（BCP）を平成27年度策定、平成28年度運用開始

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施
- ⇒ 国交省の実施状況に合わせて検討

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
- ⇒ 継続運用
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

- ⇒ **全世界帯を対象に緊急告知FMラジオを配布する計画（3ヶ年計画）**
※水害及び土砂災害危険区域を中心に、町内に2,200台配布済み



美郷町 緊急告知FMラジオ

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

- ⇒ **H28.6、水防訓練実施**

- ⇒ **H28.11.6、水防技術講習会に参加**

- ・水防資機材の保有状況の確認

- ⇒ H28.6の町水防講習会に合わせて確認を実施



H28.11.6 水防技術講習会 参加状況

H29年度の実施予定（美郷町）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 役場庁舎は浸水想定区域外となっているが、自家発電機については嵩上げを講じている

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた} 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **教育委員会及び町内小中学校に対し、水害に関する防災教育の開催を提案予定**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **緊急告知FMラジオを配布予定（3ヶ年計画の2年目）**

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ **防災ハザードマップの改訂作業実施（H29.11頃、全世帯配布予定）**

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・ 重要水防箇所の手回し点検
 - ⇒ 継続実施
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

H28年度の取組状況（羽後町）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **H28.10.26、三輪地区において住民避難訓練を実施**

※**防災無線による避難勧告の発令や水防団による積土のう工法も実施（延べ227名）**

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **H28.10.26、三輪小学校で避難訓練の実施**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ **台風10号から防災情報の共有試行に参画**

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **H28.5.29、湯沢市及び東成瀬村と合同で水防訓練実施（計120名）**

- ・重要水防箇所の合同巡視

⇒ **H28.6.6、直轄河川の重要水防箇所の合同巡視に参加**

※**羽後町参加者：副町長、防災関係職員、消防本部・消防署員、消防団員**

- ・水防資機材の保有状況の確認

⇒ **H28.10.26、住民避難訓練時に水防倉庫を確認**



避難所の開設



訓練には地元小学校も参加



消防団による避難誘導



避難所入口で土のう設置訓練

羽後町 避難訓練（H28.10.26実施）



重要水防箇所の合同巡視等
（H28.6.6実施）



シート張り工法

水防訓練状況（H28.5.29）
湯沢市・東成瀬村と合同開催

H29年度の実施予定（羽後町）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **BCP策定予定**

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続運用

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**

・重要水防箇所の合同巡視

⇒ **直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加**

H28年度の取組状況（東成瀬村）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 策定に向けて検討中

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 地震災害を想定したものは年2回実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 行政防災無線を整備済み

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **H28.5.29、湯沢市及び羽後町と合同で水防訓練実施（計120名）**

・重要水防箇所の合同巡視

⇒ **H28.11、雄勝地域振興局と村建設課で水防箇所の巡視を実施**

・水防資機材の保有状況の確認

⇒ 移動系無線を各水防団へ配備済み



シート張り工法



月の輪工法

水防訓練状況
(H28.5.29、湯沢市・羽後町と合同開催)

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 継続実施

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 継続実施（地震火災を想定）

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 継続運用（行政防災無線を整備済み）

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ **H30.1頃に公表・全戸配布を予定、要配慮者利用施設等にも配布**

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **湯沢市及び羽後町と合同で水防訓練実施**
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ **水防団との合同点検を実施予定**
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 移動系無線を各水防団へ配備済み

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ **災害対策本部（県庁第2庁舎）の耐水性について、非常用電源設備の浸水対策が実施されていることを確認（浸水想定深0.5m未満）**
- ⇒ BCP策定済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ **H28.5、洪水対応演習に参画**
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ **H28.6、住民参加による直轄河川の危険箇所等の共同点検に参画**
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ **小中学生等を対象に地震等災害を想定したグループワーク形式の防災教室を実施（県教育委員会と共催：大仙市大曲中学校など6地区で実施）**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ H29.1検討開始
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
 - ⇒ **H28.10、登録した市町村防災担当者向けに水位情報のメール配信開始**



湯沢市：湯沢若草幼稚園学童部



大仙市：大曲中学校

教育機関と連携した防災教育の実施（全6回開催）

H28年度の取組状況（秋田県）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組（つづき）

・要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施（追加）

⇒ H29.2月下旬～3月中旬、国土交通省と共同開催を実施（県内8会場、対象施設約2,800）



説明会の様子

水害・土砂災害への備えに関する
要配慮者利用施設の管理者向け説明会について
秋田県内 会場一覧

会場	日時	場所
北秋田	平成29年2月27日(月) 14:00～16:00	北秋田市文化会館【ファルコン】 (北秋田市材木町2-3)
山本	平成29年2月28日(火) 14:00～16:00	能代山本広域交流センター (能代市海泳坂3-2)
秋田	平成29年3月1日(水) 10:00～12:00 平成29年3月2日(木) 10:00～12:00	秋田市文化会館 (秋田市山王七丁目3-1)
雄勝	平成29年3月7日(火) 14:00～16:00	湯沢市文化会館 (湯沢市字沖鶴103-1)
由利	平成29年3月8日(水) 13:00～15:00	由利本荘市文化交流館「カダーレ」 (由利本荘市東町15)
仙北	平成29年3月9日(木) 14:00～16:00	大曲市民会館・小ホール (大仙市大曲日の出町2丁目6-60)
鹿角	平成29年3月14日(火) 13:30～15:30	文化の社交館「コモッセ」 (鹿角市花輪字八正寺13)
平鹿	平成29年3月16日(木) 14:00～16:00	横手市民会館 (横手市南町13-1)

(2/20東北地整記者発表資料より)

H28年度の取組状況（秋田県）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ **台風10号から、防災情報の共有試行を開始。H28.5.17、「Lアラート」の配信訓練の実施**
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H28.11.6、水防技術講習会に参加**
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ **H28.6.6、直轄河川の重要水防箇所の合同巡視に参加**
 - ⇒ **H28.11、県管理河川の重要水防箇所について管内市町村と合同巡視を実施（雄勝管内）**
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ **各地域振興局の水防倉庫にて水防資材の在庫を確認（6～7月）**



合同巡視において河川状況確認
(H28.11.7)



州ざらい実施完了
(H29.1.27)
合同巡視における状況確認と州ざらいの実施（駒形黒沢川）

■ソフト対策【戻す】

③日常生活及び社会経済活動の
一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ **H28.6.30、大仙市と連携し福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施（計30名）**



排水訓練等の実施状況（H28.6.30、大仙市と連携して実施）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ 災害対策本部（県庁第2庁舎）の耐水性について、非常用電源設備の浸水対策が実施されていることを確認（浸水想定深0.5m未満）
- ⇒ BCP策定済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ **洪水対応演習の実施**
- ・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施
 - ⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ **住民参加による直轄河川の危険箇所等の共同点検に参画**
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 継続実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ **H30.3頃、浸水想定区域図公表の年次計画を策定予定**
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
 - ⇒ 継続実施（登録した市町村防災担当者向けに水位情報のメール配信）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **H29.5.28、雄物川総合水防演習への参加**
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ **直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加**
 - ⇒ **4～5月頃、雄勝管内の県管理河川の重要水防箇所について、管内市町村との合同巡視の実施**
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・ 既存ダムが柔軟対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ **検討開始（情報収集等）**

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ **大仙市と連携した福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施**

H28年度の取組状況（秋田地方気象台）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ BCP策定済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ **H28.5、洪水対応演習に参画**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **教育機関からの要請により出前講座を実施（保育園、小学校、高校を対象に、各種出前講座を11月まで15回実施）**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒ **試行開始：H28.6.8～**

**試行として気象情報の発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のしやすさをサポート)
試行として定時の天気予報に合わせ警報の可能性の提供開始**

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}



○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ **防災情報の共有試行を開始**

教育機関と連携した取組
～防災に関するワークショップ～

5月19日、秋田県消防学校に於いて秋田県教育委員会主催「安全管理指導者研修会」で県内小学校安全担当教員162名を対象に「気象庁ワークショップ」（経験したことのない大雨、その時どうする？）を実施した。

このワークショップの他、秋田県教育委員会の防災教育外部指導者派遣事業に協力し、保育園から高校まで15回の出前講座を行った。

警報等を解説・見える化する

	今日					明日				
	9-12	12-15	15-18	18-21	21-0	0-3	3-6	6-9	9-12	
雨量(mm)	10	30	50	80	50	30				
大雨(浸水害)										
(土砂災害)										
洪水										
風 陸上(m/s)	15	20	20	25	20	20	15	12	12	
海上(m/s)	20	25	25	30	25	25	20	15	15	
波浪(m)	4	6	6	8	6	6	4	4	3	
高潮(m)	0.6	0.6	1.3	1.8	1.8					

今後の危険度の高まりを即座に把握できる！

大雨になる可能性について、[高]、[中]といった2段階の確度を付して発表。

夕方発表の天気予報

○県南部
△△日 17時発表
今夜はくもり。所により雨で、雷を伴い激しく降る。

+

今夜から明朝にかけて、
警報級の大雨になる可能性：[中]
1時間降水量(最大値)：70mm

→「場合によっては大雨の心配がある」という状況を伝えることができる。

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ BCP策定済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 継続実施

・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施

⇒ **70年・30年キャンペーンへの参加**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 継続実施（教育機関からの要請により出前講座を実施）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒ **大雨警報（浸水害）・洪水警報の改善**

大雨警報（浸水害）の基準を、表面雨量指数（仮称）に変更

洪水警報の基準の、精緻化した流域雨量指数で見直しメッシュ情報（危険度分布）の気象庁HP、防災情報提供システムに掲載

メッシュ情報を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

定時の天気予報に合わせ警報の可能性の提供、気象情報の発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（本運用開始）

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ **防災情報の共有方法を改善し、継続運用**

H28年度の取組状況（東北地整）

■ハード対策（危機管理型ハード対策）

○堤防整備

⇒ 秋田・湯沢河川国道管内で、3.72kmの築堤を実施

○堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強

⇒ 湯沢河川国道管内で、17.89kmの天端保護を実施

秋田・湯沢河川国道管内で、13.09kmの裏法尻補強を実施



裏法尻の補強（完成後の全景）



裏法尻の補強（着工前）



裏法尻の補強（完成後）

項目	対策内訳	対象地区	施工延長	予定	H28	
					実施	
					秋田	湯沢
洪水を未然に防ぐハード対策	堤防整備	新波・左手子	1.50 km	0.70 km	0.70 km	
		新波	3.42 km	2.05 km	2.35 km	
		西板戸	0.67 km	0.67 km		0.67 km
危機管理型ハード対策	天端の保護	倉内	1.60 km	1.60 km		1.60 km
		北野目	4.20 km	4.20 km		4.20 km
		大巻	2.00 km	2.00 km		2.00 km
		強首	3.50 km	3.50 km		3.50 km
		福部羅	6.59 km	6.59 km		6.59 km
	裏法尻の補強	宇留井谷地	6.20 km	6.20 km		6.20 km
		福部羅	6.59 km	6.59 km		6.59 km
		芝野	4.14 km	0.30 km	0.30 km	

ハード対策実施状況（秋田・湯沢河国）



天端の保護（全景）

ハード対策実施状況（秋田・湯沢河国）

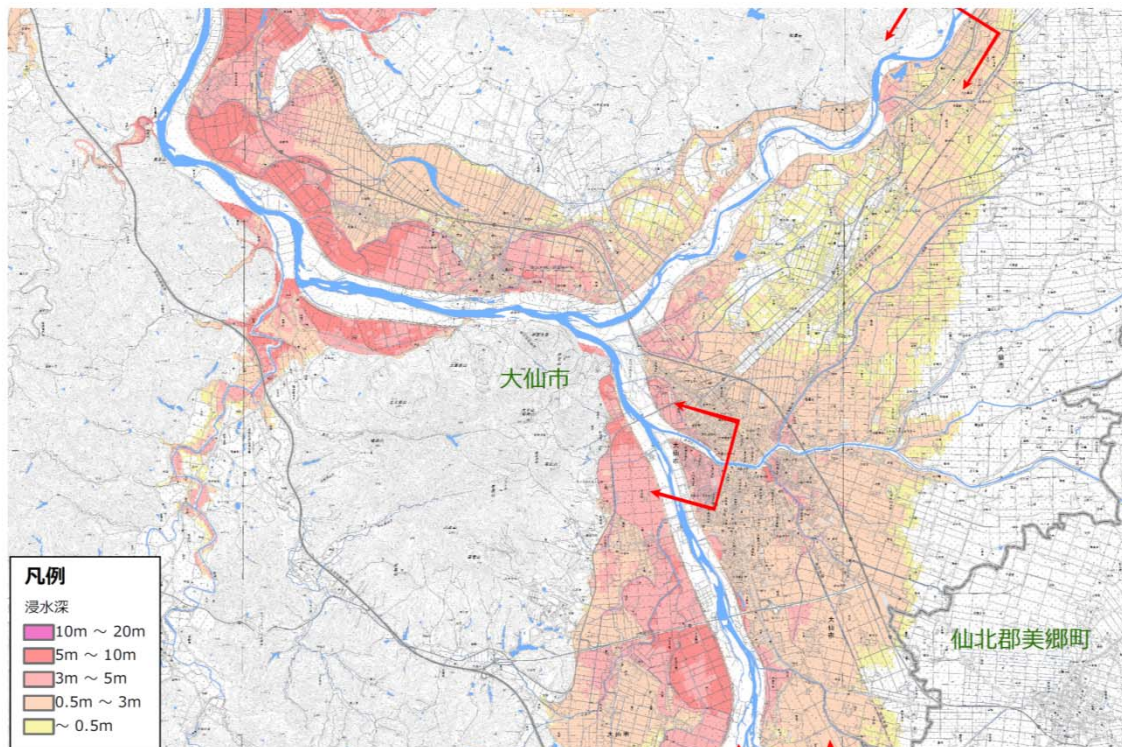
H28年度の取組状況（東北地整）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

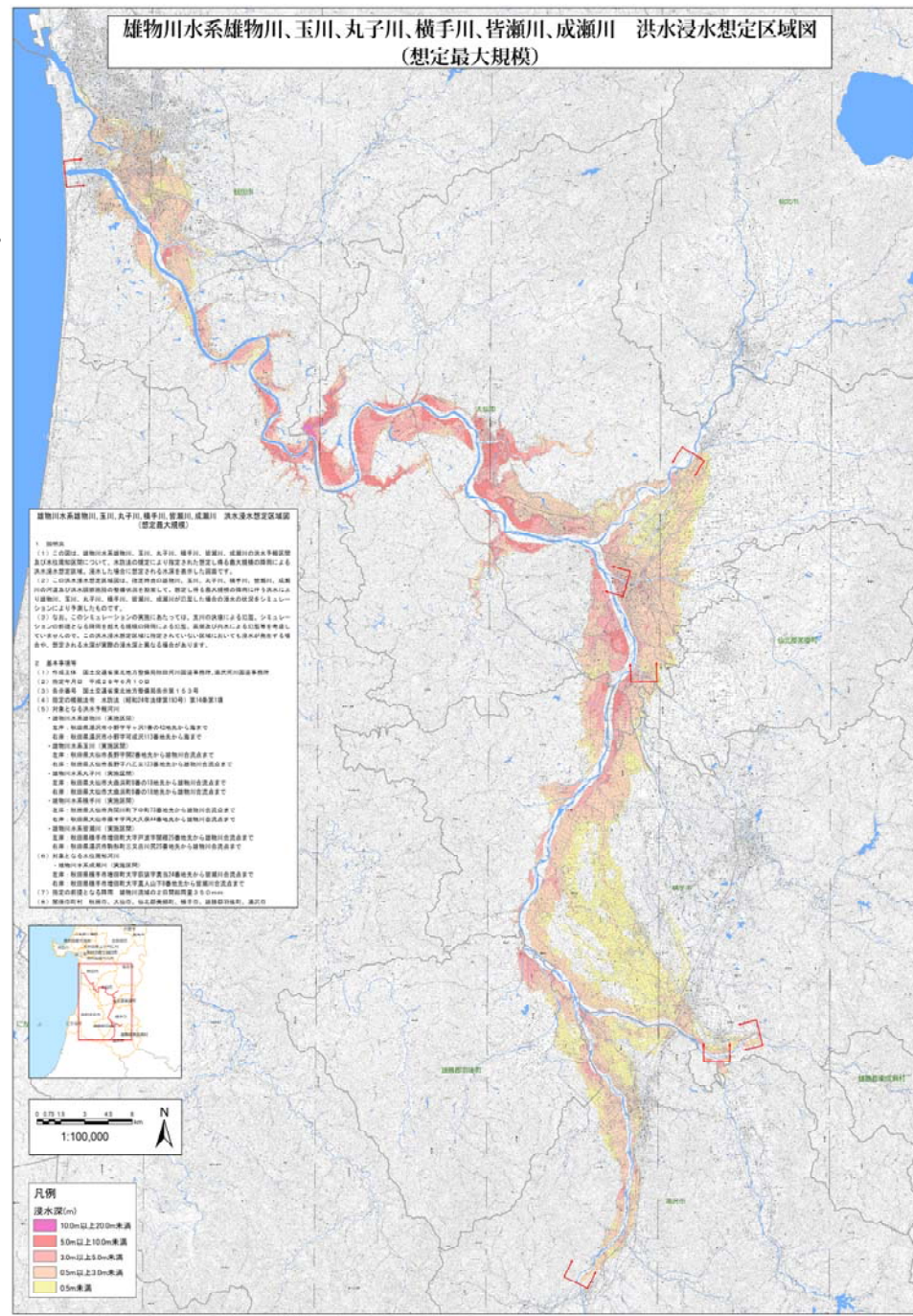
○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域（雄物川・玉川・丸子川・横手川・皆瀬川・成瀬川）の公表

⇒ 各市町村に、ハザードマップ作成に必要な電子データを提供



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号 平28情複、第167号）



H28年度の取組状況（東北地整）

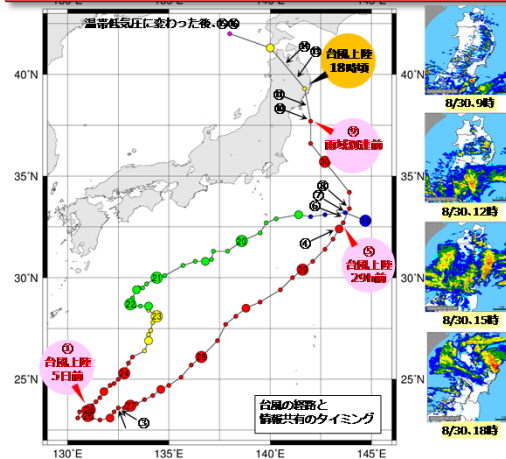
■ソフト対策【ねばる】

② 氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ⇒ H28.8.19に発生した「台風10号」への対応以降、関係機関の間で気象情報や各自治体の対応状況等の情報共有を実施
- 情報共有方法について、当初試行のメール方式から、秋田県の「情報集約配信システム」への変更を予定
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
- ⇒ H28.11.6、水防技術講習会を実施

台風が接近する前から、関係機関の間で情報共有を密に実施！



8月19日に八丈島近海で発生し、30日18時前に若手県大船渡市付近に上陸した台風10号への対応として、日本に接近する前に各自治体と連絡体制の確認及び気象情報の共有を実施した。

また、台風接近に際しては、気象情報の他、関係機関の対応状況について情報共有を密に行った。

- ① [8/25, 19時頃] 気象情報の共有を開始
- ② [8/26, 15時頃] 気象情報の共有
- ③ [8/26, 18時頃] 気象情報の共有
- ④ [8/29, 11時頃] 気象情報の共有
- ⑤ [8/29, 13時頃] 5市町と連絡体制の確認
- ⑥ [8/29, 15時頃] 気象情報の共有
- ⑦ [8/29, 17時頃] 気象情報の共有
- ⑧ [8/29, 18時頃] 気象情報の共有
- ⑨ [8/30, 12時頃] 各機関の対応状況の共有開始
- ⑩ [8/30, 12時頃] 対応状況及び気象情報の共有
- ⑪ [8/30, 15時頃] 対応状況の共有
- ⑫ [8/30, 17時頃] 対応状況及び気象情報の共有
- ⑬ [8/30, 20時頃] 対応状況及び気象情報の共有
- ⑭ [8/30, 22時頃] 対応状況の共有
- ⑮ [8/31, 09時頃] 対応状況の共有
- ⑯ [8/31, 18時頃] 対応状況の共有

計16回の情報共有を実施

情報共有の試行（H28.8.25、台風10号対応）



月の輪工法



シート張り工法

水防技術講習会（H28.11.6実施）

H29年度の実施予定（東北地整）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒ **ロールプレイング演習の実施を予定**
- ・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」の実施
⇒ **70年・30年キャンペーンの実施（パネル展）**

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **雄物川総合水防演習を開催（H29.5.28）**
洪水対応訓練：雄物川流域8市町村の水防団による「水防工法訓練」
情報収集訓練：河川パトロールカーやヘリコプターによる洪水発生状況の「情報収集訓練」や関係機関による「情報交換訓練」
関係機関による連携訓練：避難訓練、自衛隊派遣要請、救助・救出訓練、救護訓練、応急復旧訓練、応急給食配布訓練、支援物資輸送訓練など

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒ **モデル地区（モデル地区は検討中）を対象に、排水施設等の情報共有・浸水区域内の自然勾配等を踏まえた排水シミュレーションを基に、地域社会をいち早く復旧させるための緊急排水計画（案）を検討。**



平成29年度 雄物川総合水防演習

日時：2017.5.28 日曜日 8:30-12:00

場所：秋田市茨島地先 雄物川右岸 秋田大橋上流

主催：雄物川流域8市町村、秋田県、国土交通省東北地方整備局

一人一人が、水防災意識を高めよう！
連携・団結・技術を発揮して地域を守れ！

第一部 警察機動隊は見られない！雄物川流域8市町村の水防団による水防工法訓練です。
洪水対応訓練・情報収集訓練

第二部 災害を想定した実践的な水防訓練を行います。
市民・関係機関による連携訓練

東北6県代表による水防工法技術競技大会です。
東北水防技術競技大会

同時開催 防災展
10:00-13:00

お問い合せ 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
〒010-0851 秋田県秋田山王1丁目10-89 TEL: 018-823-4167 (内線)

みんなの雄物川 雄物川は、大正6年(1917年)から改修が始まって以来、今年で100年を迎えます。雄物川改修100周年ハレル展 水防演習会場にて同時開催

雄物川総合水防演習チラシ